

社会保険 二本松病院

二本松市成田町1-553
TEL 0243-23-1231
FAX 0243-23-5086
<http://www.shaho-nihonmatsu.com>
発行責任者：院内外報編集部

皆様におかれましては、輝かしい新春を迎えられ、誠におめでとう御座ります。本年も医療の原点を見つめ、サービスの向上に努めますので、ご理解とご支援のほど、宜しくお願ひ申し上げます。

昨年は、医療過誤に対する届出義務違反として、医師が検挙される事件があり、我々医療に携わる者に、驚きと恐怖を与えました。現在、裁判で争われており、真相についての決着は出ておりませんが、これから医療の在り方に、重大な影響をもたらしますことは否定できず、ややもすると萎縮診療につながりかねないと危惧します。

これをきっかけに当局では、小児科・産婦人科医等の適正配置を課題に掲げ、医療圈の見直しと拠点病院化を検討しております。

もともと不足している勤務医を一箇所に集めて、高次の医療を提供することとは、確かに望ましいことではあります。が、はたして地域医療の充実につながるものか、はなはだ疑問です。

本来、医療は、患者さんが求めたと



新年のごあいさつ

病院長 大森 勝壽

きに、何時でも速やかに応じることができなければなりません。しかし、拠点化することを理由に医師が引き揚げられたため、休診に追いやられる病院が生じます。その結果、その地域に住む方の医療サービスは、低下します。

しかもこの策は、医師不足の真の解決には繋がらず、単に役人が考える「数字合わせのままかし」と言つても過言ではありません。

当病院も、整形外科、小児科、皮膚科などの医師の欠員で、皆様にはご迷惑をおかけしておりますが、医療政策が変わらない限り、現状からなかなか脱却できません。しかし如何なる状況にあっても、私たちは、可能な限りの努力をもって、皆様の期待に沿うよう心がけて行きます。

職員の皆様は、「美しい日本人のこころ」を常に想起し、「恩」に感謝する日常生活をおくることを念頭に、職務に精励して下さい。

さて、昨年は「笑顔・真心・プラスワン」を病院目標に掲げておりました。が、今年は「プラスワンを「恩」、すなわち「笑顔・真心・恩」とします。

私たちの先祖が、日本人を教育する

ときに、一番大切にした言葉は、「恩」とします。

という言葉だったそうで、「日本人の

ここ」の中心に位置付けられていました。ややもすると若い世代では、「恩」や「義理」は死語になっているかもしれません。しかし、人間関係を良好に保つためには、相手の恩を感じ、それに対する思いやりと感謝の気持ちが大切なことは異論ないことでしょう。

本県の前知事を始め、年末に暴露された「官製談合」事件は、「恩」を逆用したもので、これは慣れによる感受性の低下が、その人の人間性を欠如させた結果であると思われます。まさに、日本人の心が衰退して起きた問題と言えましょう。

「病院の在り方みなおし」については、中央からの方針がまだ示されませんが、如何なる時でも、しっかりと足元を見つめ、皆様とともに真心こもった医療を継続する事を心に誓い、年頭の挨拶

新年を迎えて



副院長
有壁

講

新年明けましておめでとうございます。昨年は、いじめによる自殺問題、北朝鮮のミサイルや核実験、イラク内戦の泥沼化など悲しく恐ろしい報道が相次ぐ年でした。そんななか皇室における悠仁さまのご誕生では、久しぶりに日本中が沸き返りました。

当院においては、小児科、整形外科、皮膚科の常勤医が補充できいままで経過してしまいました。明らかな病院機能の低下を招いており、皆様には大変ご迷惑をおかけいたしております。医大と連携し、なんとか解消すべく努力はしているのですが、地方における医師不足は深刻で、なかなか目途が立たない状況です。今年も少ない医師の力を効率的に發揮し、皆様に満足いただける医療の提供に努めます。

そのためには、より安全な医療を目指すことであり、病院安全システムの再点検・再構築や適切な医療情報の開示、私たち職員のさらなる資質・能力の向上などを努力してまいります。絶えず医療の安全水準を引き上げることが、ひいては良質な医療の提供に行き着くと考えます。

次に来院していただいた皆様に気持ちよく過ごしていただける「やさしさ」があ

ふれた病院」を目指します。これは論理だけで片付けず情緒をより大切に考える「品格（昨年の流行語大賞）」のある病院」ということになります。すなわち笑顔と真心を忘れず、皆様から不満や叱りの出ない病院にすべく努力いたします。

これからも引き続き、地域の皆様の視点に立った医療を心がける所存ですので、今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



事務局長
猪狩 明

やるべき五つの課題

新年あけましておめでとうございます。昨年、経営改善三ヶ年計画は目的どおりの成果で終了し、年度当初に整理合理化方針が示され、それに基づき新たなスタートとなるべき年でしたが、未だに整理合理化方針は示されず今後の行く末は見えおりません。

今後、出されるであろう整理合理化方針は、社会保険庁の改革（解体）、全国健康保険協会の設立という状況からみて相当厳しいものになると危惧されるところです。

また、平成十八年四月からは診療報酬の大枠なマイナス改定をはじめ、医療制度改革並びに医師不足と、当院にとりましても大変厳しい一年でした。

しかし、病院経営にとっていかに厳し

い環境が続き、いつ、国の整理合理化方針が出されようとそれなりに即応し自主自立できる経営状況を維持していかねばなりません。

そのような環境の中、新年に当たり五つの課題を掲げ取り組んでいきたいと思います。

1 職員は患者様の精神面を含め、その痛みを理解し、より良い接遇に心がけ、患者様に足を運んでいただけの環境を作り上げることも、診療・治療と合わせ大事なことです。人として、

医療に携わる職員として常に患者様本意の姿勢をお願いしたいものです。

2 平成十四年度までは、国費での医療器械の購入、施設整備ができましたが、國の方針により保険料財源の投入がなくなり、全て院費による自主整備となりました。

病院を取り巻く環境、患者様の権利意識の変化等に的確に対応しながら、常に改善・改革をする意識を持たなければなりません。

3 平成二十年の七月には（財）日本医療機能評価機構の認定更新となります。すでに準備作業に入っていますが、今回はVer5での受審となりますので、

参加される選手の歓迎はもとより、試合運営に限らず、グループ職員間の懇親を深め、大会運営をスムーズにし、参加者が満足してお帰りいただけるよう努めることです。

単なる行事の消化ではなく、その持つべき意義を果たし、更なる飛躍の場にしていただきたいものです。

新年にあたり、以上五つの課題を掲げましたが、基本は私たちは地域医療の核病院職員として地域から愛され、患者様から信頼されるため患者様が満足できる接遇をすることであり、併せて医療・病院を取り巻く環境に柔軟に対応するこどが患者様の満足度向上に繋がるものと信じております。

今年一年、名前のように「猪の命、救

これらの実施に向け、生活習慣病受託機関として、健診内容や基準値の見直しをはじめ保健師・管理栄養士等、保健指導者の確保及び養成を図る等、センターを中心に健診を受託できる条件の整備を進めてまいります。

5 病院業務を離れた行事として、今年度は東北・北海道ブロック球技大会の当番幹事病院となります。

年に一度、グループ病院が集いそれを病院の名誉をかけ競技を行います。

日頃の練習の成果を存分に發揮すべき催しであることは勿論ですが、当院は幹事病院として果たすべき役割があります。

各地区から多忙な業務の間をぬって

参加される選手の歓迎はもとより、試合運営に限らず、グループ職員間の懇親を深め、大会運営をスムーズにし、参加者が満足してお帰りいただけるよう努めることです。

新年にあたり、以上五つの課題を掲げましたが、基本は私たちは地域医療の核病院職員として地域から愛され、患者様から信頼されるため患者様が満足できる接遇をすることであり、併せて医療・

病院を取り巻く環境に柔軟に対応するこどが患者様の満足度向上に繋がるものと信じております。

うた狩人に……」猪突猛進で走り続けたいものです。

「美しい日本」を再び



看護局長

添田 和敏

新年おめでとうございます。

皆様に新年が良き年でありますように心よりお祈り致します。

改めて良い年であつて欲しいと祈ることの意味を書いてみようと思います。先日何気なくテレビを見ていると、日本人が変質してしまったのではないかという事が話題になつていきました。例えば周りの人がどうで有ろうと自分だけが良ければそれで良しとする傾向、例えば「いいじめ」やそれを苦にした自殺、子供の学校の給食費も高級車を乗り回せる経済状態でも「義務教育なんだから国が面倒みるべき」と理由付けして払わないとか、国民年金税の滞納や不払い、耐震強度の虚偽報告書、企業の白社製品の欠陥隠蔽、政治家なども秘書給与を詐取したり、身近には官製談合で甘い汁を吸うとか、その場限りの言動に終始し、政治家の良く言う「国家百年の計」等と言う言葉は死語になってしまったのかと思います。しかし、これらのこととは個々人の考え方、行動の仕方の集大成が「社会の姿勢」となり、「思想の背景」でも有るという意味では他人事ではないと思うのです。ある公共の図書館の本を切り抜いていた女性

一歩一歩着実に



サンビューワード
副施設長
高野 弘一

新年明けましてお目出とうございます。輝かしい良き年をお迎えのことと思いま

ま書き並べてみましたが、これらひとつひとつが「運動」している事を再確認してお互い身近なところで自分で出来る「改善」をしてゆく「最初の一年」にしたいものです。

が、職員から注意されると「どうして悪い？」と言う返事をした、とも話しておりました。又、図書館の専門書などにたりしてある本も数多く見られるとも聞

き暗然とした気持ちになりました。日本

人は本来几帳面で勤勉、公衆道德、規範を守る民族、だから日本は美しい国と言

うのが誇りでもありました。思い付くま

ま書き並べてみましたが、これらひとつひとつが「運動」している事を再確認してお互い身近なところで自分で出来る

てお互い身近なところで自分で出来る

「改善」をしてゆく「最初の一年」にし

増と、施設は減収となり更に昨年四月には利用料の引き下げが実施されました。又昨年今年と同地区に同様の施設が開設及び開設が予定されており大変厳しい状況下にあります。

このような中につつても、いつでも安心してご利用いただける、選ばれる施設づくりが大切であります。

「職員が休みたい時が利用したい時」と言われております。職員の理解と協力の下にその一環として昨年五月より土曜日のデイケアを始めました。更にこの一月

から祝日についても枠を広げて実施することとしました。

サンビューワードの理念は「生命の尊厳性を尊重し、生きがいを感じる看護介護の提供」であります。この精神をもつて日々実践して行かねばなりません。

まだ改善の余地があると思いますが、利用者、その家族の皆様の意見等を取り入れながら、一歩一歩確実に進めて参りたいと思います。

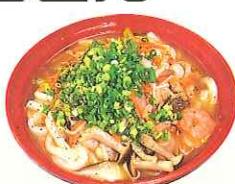
今年もどうぞよろしくお願い致します。

【栄養課より】

ためしてレシピ！

きのこバターラーメン

正月料理を存分に頂いて、もう…というときに！ きのこたっぷりのうどんは、いかがでしょう。是非、作ってみてはいかがでしょう。



*材料 4人分

| | | | |
|-------|-------|------|------|
| 冷凍うどん | 4玉 | 人参 | 80g |
| 麺つゆ | 200ml | 椎茸 | 80g |
| だし汁 | 800ml | しめじ | 120g |
| バター | 大さじ2 | えのき茸 | 120g |
| 黒こしょう | 少々 | むきえび | 200g |
| 万能ねぎ | 80g | | |

*作り方

- ①人参は千切り、えのき茸は半分に切り、ほぐしておく。椎茸としめじは、食べやすい大きさに切り、万能ねぎは、小口切りにしておく。
- ②鍋でバターを溶かし、人参・きのこ類・むきえびをさっと炒め合わせ、だし汁・麺つゆを加え、調味してひと煮立てする。
- ③うどんを茹で、器に盛り、その上に②をかけ、万能ねぎと黒こしょうをふりかけて、出来上がり。

年男・年女

腎センター次長兼ME課長
守岡 宏

明けましておめでとうございます。

今年は「亥」の年男であり、又自分にとっては貴重な年でもあります。良い仕事につながるために、まずは体力の増強と活力を持つて飛躍の年になる様、情勢をしつかり見極めて、日々努力するとともに、漸進し頑張って行きたいと思います。今年も宜しくお願ひします。

看護師

涌井冬美

新年明けましておめでとうございます。今年は「亥」とうとう私も年女になつてしましました。そういうえば最近、物や人の名前が思い出せず「あれ」「これ」「それ」で会話することが多くなりました。そして気になる背中・お腹・お尻の肉……。これが「大人」になると言うことなのですね……。

十二年後、ステキな「大人」になるために、今、自分でできる事から始めようと思います。

理学療法士

高橋光宏

新年明けましておめでとうございます。早いもので就職してから二年目を迎えた。まだまだ未熟者ですが、よき先輩方にご指導いただきながら少しづつ成長していくべきだと思います。これからも健康に気を付け頑張っていきたいと思いま



薬剤師係長
安斎千春

今年で何回目の年女です。振り返る

といろいろあつたような気もしますが、残っている時間のほうが短くなつてきました。最近特に感じることは気持ちと体力が一致しないことが多くなったことで

す。以前女優の森光子さんが舞台で前転をやっていましたが、自分ではできると思いつつ、いざやってみると意外に簡単なものではなく、もし自分が八十歳になつたときはできないと確信しました。森光子

さん完全に超人的です。他に医師の日野原先生も九十五歳を超えて、あのパワーはなんなのでしょうか。脳のトレーニングDSをやってはみたものの効果は少し、腰や膝の関節も危なくなり、筋トレも必要な感じですが疲れるし……シワのばしボトックス、毒だしデトックスも必要でしようか

とりあえず、昨今いつ何が起つても不思議ではないと思うことが多くなつた世の中、暗いことばかり想像しても仕方がないので、一日一笑を心がけ、免疫の活性化を目指していきたいと思います。

転倒予防のための筋力アップ教室の報告

十二月九日(土)に「転倒予防のための筋力アップ教室」を開催しました。

今回は、朝からの雪で参加者の出足が心配されましたが、予定通り十名の出席で無事行うことができ、外の寒さとは対称的に汗を流す姿もみられました。

実践の内容は、運動前に簡単なバランステストを行い、自らの体のゆがみや重心の位置の確認等をしてもらいました。それで運動中、日頃の生活習慣を見直した面も多くあつたかと思います。また、参加者の方の中には、前回も参加された方もいて健康への意識の高さを感じます。「今日のように寒い冬場は、運動する機会をもてない」などの声も聞かれました。有料でも行っていいって欲しいとの要望もあり、今後もより多くの方々に参加してもらい予防に役立てていければと思います。



庶務だより

退職

助産師
事務局次長兼庶務課長
佐藤義明

坂本晶子
12/31

今年の目標

笑顔・真心・恩



明るい職場

大平 美奈

編集後記

新年明けましておめでとうございます。皆さんは、どのように新年を迎えたのでしょうか？毎年、つい

つい食べ過ぎてしまふ人も多いはず……。そのエネルギーを一年間の糧にして頑張りましょう。

二本松病院は、今年も地域の皆様により一層良質な医療を提供できるように努力していきます。今年もどうぞ宜しくお願ひ致します。

Y-S記